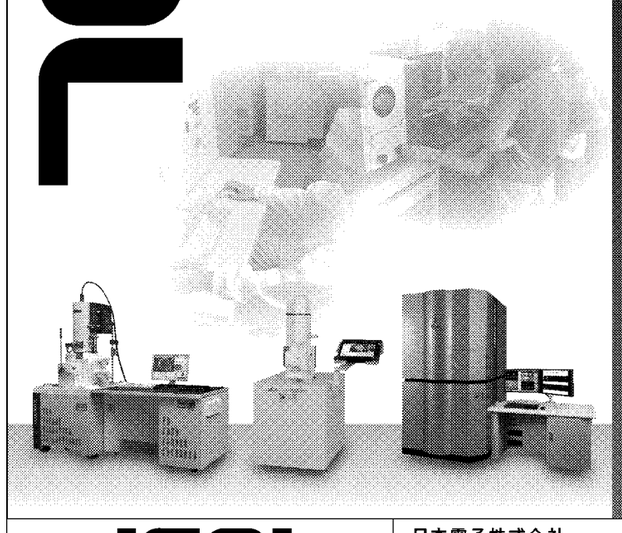
豊かな未来に、科学で貢献します。

JEOL

Global Solutions Provider for Advanced Technology



分析展-2011　科学機器展2011

平成23年9月7日(水)～9月9日(金)
幕張メッセ国際展示場　ホール7 ブースNo.7B-801

当ブースではMacBook Airやi pad2が抽選で当たるキーワードラリーを実施致します。奮ってご参加のほどお待ちしております。

新技術説明会(聴講無料)

会　場:ホテルニューオータニ幕張
部屋番号:N-1(ステラ) N-2(翔の間) N-3(舞の間) N-4(悠の間) N-5(麗の間)

月 日( )	時 間	部屋番号	タイトル
9月7日(水)	10:30～10:55	N-1	アルゴンイオンビームを使った断面試料作製装置の応用
9月7日(水)	11:50～12:15	N-1	ESRを用いた固体材料評価
9月7日(水)	13:50～14:15	N-1	医薬品の品質保証に有力なPATに寄与するNMR -反応中間体と製剤の解析-
9月7日(水)	15:10～15:35	N-1	-匠から巧へ- 日本電子の新型四重極質量分析計『JMS-Q1050GC』登場!
9月8日(木)	10:30～10:55	N-1	ハイスループットFIBの紹介
9月8日(木)	11:50～12:15	N-1	JMS-S3000 "SpiralTOF" が拓く MALDI質量分析のフロンティア
9月8日(木)	15:10～15:35	N-1	マクロ領域からナノ領域の観察・分析を可能にした新型FE-SEMの紹介
9月8日(木)	14:25～15:15	N-4	『最新FE-TEMを用いた各種材料のための観察・分析テクニックの紹介』 ～原子分解能分析・大口径新型SDD～
9月9日(金)	14:30～14:55	N-1	S-E-M　フロンティア
9月9日(金)	15:50～16:15	N-1	次世代リチウムイオン電池　分析・評価最前線 ～目からウロコの分析機器利用法～
9月9日(金)	10:30～10:55	N-2	蛍光X線の環境分析への適用(水質・土壌・RoHS・廃棄物・材料等)と測定ノウハウ
9月9日(金)	13:20～14:10	N-5	GC/MS基礎講座 ～知っておきたいGC/MSの基礎と解析のコツ～

JEOL
Serving Advanced Technology

日本電子株式会社　http://www.jeol.co.jp/
本社・昭島製作所　〒196-8558 東京都昭島市武蔵野3－1－2 TEL：042-543-1111
営業企画室　〒190-0012 東京都立川市曙町2－8－3 新鈴春ビル3F TEL：042-528-3381
札幌(011)726-9680・仙台(022)222-3324・筑波(029)856-3220・東京(042)528-3211・横浜(045)474-2181
名古屋(052)581-1406・大阪(06)6304-3941・広島(082)221-2500・高松(087)821-0053・福岡(092)411-2381

分析展-2011　科学機器展2011

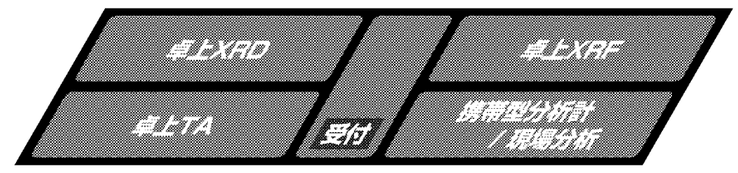
Rigaku
ブースのご案内

ラボユースからオンサイトまで
注目の分野をくまなくサポート

リガクブース：7B-101

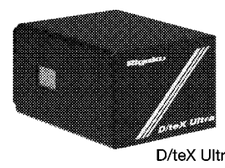
卓上機・携帯型機器とオンサイト・ソリューションを中心に提示

省エネ　電池　電子材料　環境　安心・安全　リサイクル

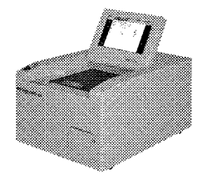


新製品のご案内

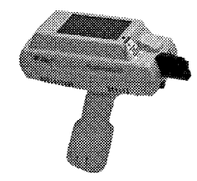
高速1次元X線検出器
D/teX Ultra 2
筐体サイズは従来比約50%
D/teX Ultra-HE
高エネルギーMo対応で強度は従来比約2倍


D/teX Ultra 2

エネルギー分散型蛍光X線分析装置
NEX QC
産業廃棄物の再利用・再資源化のスクリーニング分析に特化した低価格モデル



携帯型ラマン分光計
FirstGuard
レーザーラマン測定が現場で可能
色素や生物由来試料の蛍光の問題も解決



新技術説明会のご案内　聴講無料
会場　アパホテル&リゾート(東京ベイ幕張)2F
定員　100名(ご先着順)

9/7(水)
卓上XRF　蛍光X線分析法 ―波長分散型とエネルギー分散型の上手な活用法
卓上TA　熱分析ソフトウェアの新機能と発生ガス分析のノウハウの紹介
携帯/現場　携帯型ラマン分光計による非破壊材料検査 ―プラスチック種判別・薬品材料検査から文化財調査まで―

9/8(木)
卓上XRD　卓上機で実現可能な粉末X線回折法による評価の紹介
その他　広がりを見せるGD-OES深さ方向分析 ―新材料への応用と定量分析の進歩―

9/9(金)
卓上XRF　微量元素分析に威力を発揮!高感度卓上型XRF分析機「EDXL 300」とNiton携帯型成分分析計の新しい応用例
卓上XRD　さまざまなサンプルの測定に活躍するX線回折装置用アタッチメントと応用測定例の紹介

各講演後、ご質問や詳細な説明を希望される方はリガクブースにて承ります。(事前予約制の相談コーナーもあります)

株式会社リガク　〒196-8666　東京都昭島市松原町3-9-12　☎042-545-8111(代表)
詳しくはWebで・・・　リガク　検索

分析展２０１１ 科学機器展２０１１

新技術説明会など

「新技術説明会」は幕張メッセに隣接するアパホテル＆リゾート東京ベイ幕張の東京ベイ幕張ホールとホテルニューオータニ幕張の2会場での開催。分析・科学機器、周辺機器メーカー各社の新技術、製品が、313テーマのセッションで紹介される。

一方、展示会場5ホールにオープンシアターを設置。「ミニオープンフォーラム」を開催する。同フォーラムでは日本化学会が「日本化学会フォーラム理科教育セミナー」で、キュリー夫人ノーベル賞受賞100年を記念して制定された世界化学年に合わせて、その人柄と業績、そして放射能の性質とその利用について理解を深める講演「マリー・キュリー」と、最新の理科教育内容と化学的背景を解説する「筑波大学発―面白不思議科学実験・工作隊―」を行う。

また、機器メーカー各社が有機合成装置や薄膜クロマトグラフィー、振動試験機、超高速遠心分離機などの原理を解説する「やさしい科学機器入門」は若手研究者、メーカー営業担当者や新入社員、商社の営業担当者、さらには教育関係者にも聞き逃せない。「新技術説明会」「ミニオープンフォーラム」の聴講はいずれも無料だ。

併催イベントとして開催されるサイエンスセミナーは業界関係者以外からも好評を得ている主催者企画である。今年のタイトルは「宇宙からのシグナル　深海からのメッセージ―オーロラと海底探査―」。

国立極地研究所の教授で副所長の佐藤夏雄氏がオーロラ、そして南極観測隊員の姿を豊富な映像で紹介する「オーロラの神秘と南極観測隊―美しき光に魅せられて―」、海洋研究開発機構（JAMSTEC）の地球内部ダイナミクス領域技術研究員の笠谷貴史氏が海底で起こっている現象を紹介する「海からのぞく地球の姿」という二つのテーマのセミナーが行われる。

サイエンスセミナーはホテルニューオータニ幕張の麗の間で、9月7日14時から。聴講は無料。定員は200人。すでに事前登録で満員になっており、受け付けは終了しているが、当日空席が出た場合のみ聴講可能。空席待ちは直接セミナー会場へ。

分析・科学機器はモノづくりを行うため、最初期段階で利用されるマザーツールである。その最新製品・技術・サービスが一堂に会するのが「分析展／科学機器展」である。セミナー、シンポジウムなどのスケジュール、詳細については、同展ウェブサイト（http://www.jaimasis.jp/）まで。

やさしい科学機器入門(ミニオープンフォーラム内)

9月7日(水)	11:00～11:30	有機合成装置
	11:35～12:05	ロータリーエバポレーター
	12:10～12:40	薄層クロマトグラフィー
9月8日(木)	11:00～11:30	環境試験器
	11:35～12:05	塩水噴霧試験機
	12:10～12:40	振動試験機
9月9日(金)	11:00～11:30	PCRサーマルサイクラー
	11:35～12:05	DNAシーケンサ
	12:10～12:40	電気泳動装置
	13:30～14:00	超高速遠心分離機
	14:05～14:35	細胞破砕機
	14:40～15:10	CO_2インキュベーター

有力企業の製品・技術

〈順不同〉

ワッティー

ワッティーは「挑戦するヒータメーカー」をテーマに、ポリイミドヒーター、シリコンラバーヒーター、マイカヒーターなどの面状ヒーター、窒化アルミニウムを素材にした急昇温急降温対応のヒーターを展示する。また、「液面センサ・磁気センサ・角度センサ」をテーマに、リードスイッチ方式、電極方式、磁歪方式のなど各種液面レベルセンサーに加え、角度センサ、回転センサー、ワイヤセンサー、ブレードセンサーを出展する。

同社は生化学分析装置や血液分析装置のヒーター製作、薬液の液面管理や廃液タンクの液面検知に実績があり、半導体製造装置のヒーターで培った温度制御とクリーン度を要求されるモノづくりが得意だ。また、扉の開閉検知においてはIP67標準仕様の近接スイッチが良く使われている。

島津製作所

島津製作所は「Technology, Innovation, Future　未来を創造する最先端ソリューション」をテーマに①脱炭素社会を目指すグリーンイノベーション―太陽光発電や次世代電池の研究・製造を支援する評価技術②病気の早期診断・治療を目指すライフイノベーション―生体分子や代謝物を可視化する分子イメージング技術などを展示。さらに分析計測装置自体を省電力・省エネ化する独自の取り組み「Save the Energyプロジェクト」の特設コーナーも設置。顧客の分析測定業務へのソリューションを提案する。

また、新製品の超高速液体クロマトグラフや紫外可視分光光度計をはじめ多彩な製品群を出展。併催の新技術説明会では最新の分析技術やトピックスなど顧客に役立つ情報21件を紹介する。

ジャパンハイテック

冷却加熱ステージの専門店として創業30年のジャパンハイテックは「冷却加熱ステージ（光学顕微鏡、顕微FTIR、顕微ラマン、SAXS用）」を出展する。

冷却加熱ステージには試料を加熱冷却した状態で延伸（伸長）による変化・伸び・破断の観察ができるもの、試料を温度制御しながらその試料の冷却・加熱による変化の顕微鏡観察と高精度の測温が行えるもの、試料を温度制御しながらせん断（ずり）を加え、その試料の変化のその場観察が行えるものがある。

同社は「温度範囲（℃）19 0－1500度C）」「せん断・延伸・電圧などの印荷有無」「雰囲気」「セット可能な機器」など、30機種をラインアップ。ユーザーは研究に最適なものを選ぶことができる。また、ユーザーの質問、ほぼ全てに即答できる体制を構築している。

東亜ディーケーケー

東亜ディーケーケーは第16改正日本薬局方の製薬用水の電気伝導率測定に対応し、自動安定判断機能を搭載した電気伝導率計（CM－30R）やマルチ水質計（MM－60R）、ポータブル濁度計、炭酸ガス濃度計の新製品、HACH製品を加えたラボ・ポータブル水質計などを出展する。また、油膜検知器や水道水用水質自動測定装置などの環境・プロセス用分析機器もラインアップ。さらにHACHとの業務提携強化第2弾として、7月から同社が販売を開始したARTIブランドのパーティクルカウンターも出展する。

新技術発表会では「イオンクロマトグラフのさまざまな分野のアプリケーションをご紹介」「液相／気相両用の新型ポータブル炭酸ガス濃度計のご紹介」「HACH製新型プロセス計測用変換器」の3テーマを発表。

JASCO Corporation

東日本大震災で被災されました皆様に、日本分光グループ一同、心よりお見舞い申し上げます。
皆様の安全と一刻も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

出展予定機種
フーリエ変換赤外分光光度計：FT/IR-4000・6000 series／マルチチャンネル赤外顕微鏡：IRT-7000／赤外顕微鏡：IRT-5000／多目的FTIR：VIR-100・200・300 series／レーザラマン分光光度計：NRS series／顕微紫外可視近赤外分光光度計：MSV series／紫外可視近赤外分光光度計：V-600 series／ライフサイエンス紫外可視分光光度計：V-630BIO／蛍光計：P-2000 series／分光蛍光光度計：FP-8000 series／溶出試験器：DT-810／定置型近接場顕微分光システム：NFS series／超高速液体クロマトグラフ：X-LC 3000 series／高速液体クロマトグラフ：LC-2000Plus series／超臨界流体システム：SCF series／その他付属品等多数

JASCOグループブースへご来場いただいた方へ、もれなく粗品を進呈致します。

分析展-2011　科学機器展2011
2011.9/7(水)▶9/9(金)
幕張メッセ国際展示場
AM10:00～PM5:00 入場無料

JASCO グループ出展ブース
国際展示場 展示7ホール
7A-101／7A-201／7A-301

新技術説明会／ブース内小セミナーのご案内

新技術説明会　第1会場　アパホテル＆リゾート 東京ベイ幕張
9/7(水) 11:10～12:00 A-8室　HPLC、UHPLC使用時におけるゴーストピーク発生の原因と対処法のノウハウ公開
9/8(木) 11:10～11:35 A-2室　タンパク、DNAの測定・解析を1滴のサンプルで
9/8(木) 14:25～15:15 A-11室　FTIRの話題の分析を一挙公開!!　最新のATR、イメージング、解析ソフトによる先端研究の新たなる展開
9/9(金) 12:15～13:05 A-11室　測れないものを測るためのひと工夫・ふた工夫 Part 2 ― UV・Vis・NIR・FP編 ―

新技術説明会　第2会場　ホテルニューオータニ幕張
9/7(水) 15:50～16:15 N-1室　HPLCにおける分析スケール変更のコツ ― メソッド変換法とその留意点 ―
9/9(金) 11:10～11:35 N-1室　ここまで魅せます!!　ラマン分光イメージング・蛍光回避・データ解析テクニック

ブース内小セミナー（3日間）
11：20～ 全て見せますFTIR　多彩なATRから高速イメージングまで最新測定テクニックをその場で実演!
12：50～ 全て見せますレーザラマン分光システム　各種イメージングデータの紹介と最新解析テクニックをその場で実演!
13：20～ ディスポーザブル液型器と専用自動プレスによるKBr錠剤法・プレート法の新しい形!
13：50～ 分析からセミ分取スケールまでできる!　超臨界流体クロマトグラフィー　～天然物中成分の分取・精製～
14：20～ ラボのノウハウ分光光度計編　ちょっとした疑問にお答えします。～たかがUV、されどUV～
14：50～ メソッド変換方法のお悩み解決!　PartII　～HPLCからセミ分取HPLCやUHPLCへ～
15：20～ 新製品紹介 FP-8000シリーズ　～進化した"蛍光"の機能とシステム～
15：50～ 全て見せますFTIR　多彩なATRから高速イメージングまで最新測定テクニックをその場で実演!

ブース内デモンストレーション
●フーリエ変換赤外分光光度計　赤外顕微鏡を中心に最新測定テクニックを実演
●超高速液体クロマトグラフ　超高速液体クロマトグラフィーによる高速分析の実演
●分光蛍光光度計　究極の微量測定　～ケシ粒大の試料1粒の測定を可能に～
●分光蛍光光度計　これからの10年に向かって進化した蛍光　～"蛍光とはそういうもの"を超克～

JASCOは日本分光株式会社の登録商標です。

光と技術で未来を見つめる
日本分光
JASCO 日本分光株式会社
〒192-8537 東京都八王子市石川町2967-5
PHONE 042(646)4111(代表)
FAX 042(646)4120
URL：http://www.jasco.co.jp/

北海道S・C 011(741)5285　神奈川S・C 045(989)1711
北日本S・C 022(748)1040　名古屋S・C 052(452)2671
筑波S・C 029(857)5721　大阪S・C 06(6312)9173
東京S・C 03(3294)0341　広島S・C 082(238)4011
西東京S・C 042(646)7001　九州S・C 092(588)1931

ISO 14001 JSA-EMS 登録番号 JSA0224 本社・工場
ISO 9001 JSA-Q777 本社・工場 JSA Q 9001

本広告に記載されている装置の外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

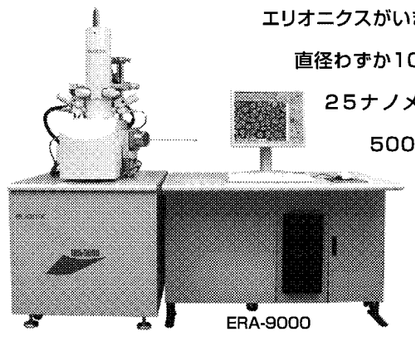
ELIONIX

500円玉に、1テラビット!?

私たちにはすっかりおなじみのDVDディスク。盤面にピット（穴）を開け、そこにデータを記録しているのですが、現在のピットの直径は300ナノメートル程度で約5ギガバイトの容量を達成しています。これをもっと小さく、そして間隔を狭めれば、容量はどんどん増やせます。

エリオニクスがいま実験を重ねているのが、直径わずか10ナノメートルのピットを、たったの25ナノメートル間隔で描く技術。完成すれば、500円玉大のディスク基盤上に、1テラビットのデータ記録が可能に。

こんな夢の技術が実用化できれば、映像や音楽とのつき合い方や楽しみ方もガラッと変わりそう。これが、エリオニクスがやっている「ナノテク」です。


ERA-9000

http://www.elionix.co.jp

2011分析展 出展 ブースNo.7A-405　ナノテク。すごく小さいけれど、すごく大きな夢。

株式会社 エリオニクス
本社・工場・ショールーム　〒192-0063 東京都八王子市元横山町3-7-6　TEL 042-626-0611　FAX 042-626-6136
ナノテクシステムセンター　〒192-0012 東京都八王子市左入町279　TEL 042-692-0610　FAX 042-692-0690
西日本営業所　〒563-0025 大阪府池田市城南1-9-22 グリーンプラザ2F　TEL 072-754-6999　FAX 072-754-6990